

◎ 通訳にあたるチームメンバーの責任として以下の項目を確認してください。

1, 前日まで準備

<法人として>

- 1-1 音声取得用携帯の充電確認
- 1-2 表示確認用携帯等の充電確認
- 1-3 入力者各自の入力用ソフトウェアの設定確認  
(ex.訂正文字色「変更しない」に設定)
- 1-4 使用 ITBC のバージョン確認と決定
- 1-5 チャンネル数・班の番号確認と決定
- 1-6 IP アドレスの変更に備えて、連絡用携帯で、以下を行う。
  - ・SMS メール送付のためのグループ通話設定を作っておく。
  - ・送付メールのひな形を作成しておく。

<個人として>

- 1-7 ITBC を使うパソコンは、LAN ケーブルがカテゴリ 6 以上であることを確認する。
- 1-8 ITBC を使うパソコンは、ローカルエリアのプロパティ設定で
  - ・IPv6 はチェックを外しておく
  - ・自動で取得にする際は、IP アドレスはもちろん、DNS サーバーの IP、代替アドレスタブの IP も全て削除しておく
- 1-9 使用ソフトウェアのセキュリティの許可設定を確認

2, 当日開始前準備

- 2-1 HDD を切る、またはネットワークからはずす。
- 2-2 プリンタを使用する場合はネットワークからはずす。
- 2-3 入り口外に「遠隔支援中」の掲示を行う。
- 2-4 光ルータ～分岐用 HUB の LAN ケーブルの差し込み確認。

### 3, 当日準備

- 3-1 ITBC 用、ITBC バックアップ用、ITBC データカード用、  
入力用パソコンのネットワーク構築
- 3-2 使用ソフトウェアのセキュリティの許可設定を確認
- 3-3 全てのケーブルの差し込み確認
- 3-4 音声通話テストで聞き取り確認
- 3-5 表示用機器の準備 (iPhone、iPad、PC ブラウザ)

### 4, ITBC 設定手順

※ 設定を変更した場合は必ず「起動時設定」で保存

#### 4-1 ITBC の起動

#### 4-2 ログ記録の確認

- 1) 「操作」－「記録」上から2項目にチェックがあることを

＊ログデータの取り出し方法

「操作」－「記録」－「フォルダ」－「ログフォルダ」

＊トラブルがあったら、このデータを森さんに送付

＊データがどんどん蓄積していくので時々削除

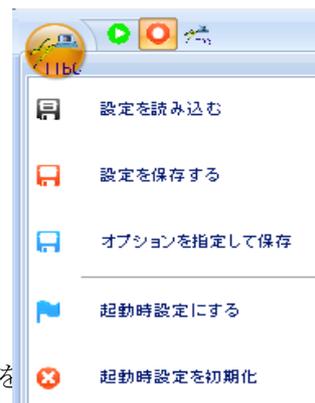
#### 4-3 設定の確認

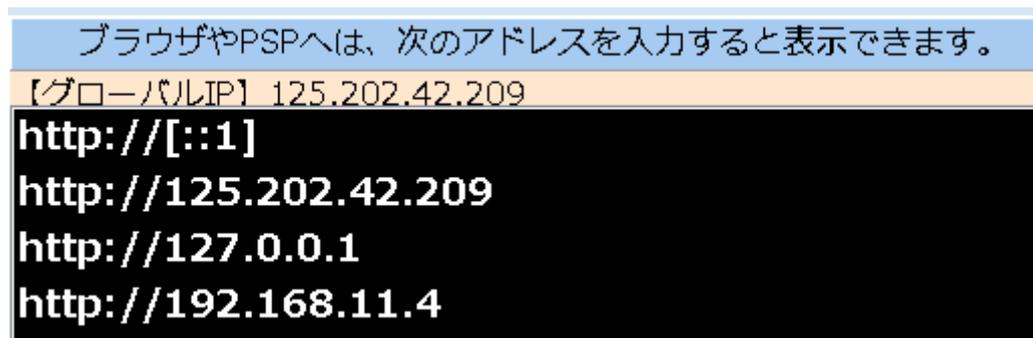
- 1) 「操作」のトップ または「設定」－「自動ポート解放」のチェックを確認
- 2) 「設定」－「入力」－「空行のみ改行」「禁則処理」のチェックを確認
- 3) 「設定」－「表示」－「◆最終表示」のチェック確認
- 4) 「設定」－「表示」－「行・文字サイズ・・・」で文字数・行数確認
- 5) 「対策」－「IPv6 を無効化」をクリックしておく

※ パスワードや DDNS を使う場合は、できるだけ 5, 6, の処理を行い、設定状態を起動時設定にしてから、以下の操作を行って下さい。

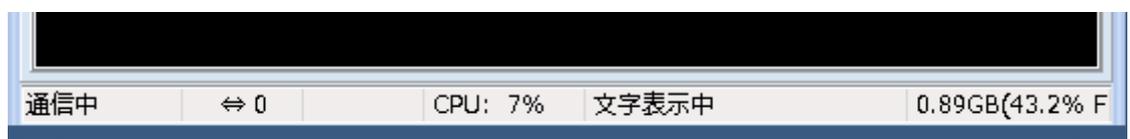
#### 4-4 通信の確認

- 1) 「通信 on」→ 「操作」－「接続 IP の確認」画面で、グローバル IP アドレスの表示を確認

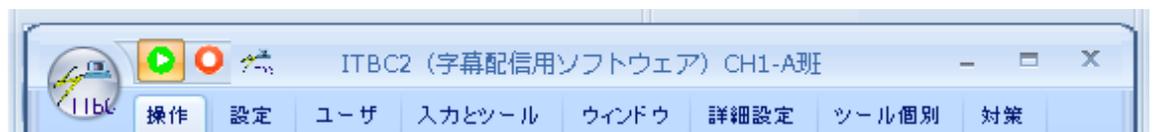




- 2) ウィンドウ最下段左端に「通信中」と表示されていることを確認



- 3) ウィンドウ最上段「ITBC2 (字幕配信用ソフトウェア)」の表示の右隣に使用チャンネル・班が表示されていることを確認



#### 4-5 グローバル IP アドレスで、表示端末に配信できるか確認

<注意>

- \* 3 台の ITBC を「通信 on」にする順番は、以下の順に行う。  
ITBC 用 → ITBC バックアップ用 → ITBC データカード用
- \* 最初に起動した ITBC が配信サーバとなる。
- \* トラブルがあった際は、該当の ITBC を「通信 off」し、  
上記の順番に次のバックアップ PC において、  
(必要に応じて) DDNS 設定、パスワード設定を行い、「通信 on」する

#### 5、パスワードの設定 ※必要な場合のみ※

- 1) 「ユーザ」－「アクセス管理」－「受信パスワード」で設定
- 2) 設定後、必ず再度「通信 on」
- 3) 表示機にパスワードが表示されてくることを確認

\*バックアップ用については、パスワードのチェックのみを入れない状態で待機状態にさせておき、配信サーバとなる際に、チェックを入れる。

## 6, DDNS の設定手順

6-1 「詳細設定」 - 「通信」 - 「ネームサーバー (DDNS)」

6-2 必要事項の入力

1) 以下参照 パスワード「samasama」



2) 「設定開始」をクリック

3) 再度 4-3 の表示を確認

6-3 DDNS で全ての表示機で配信されるか、確認

\*バックアップ用については、「ユーザーID」欄のみ空白の状態です。待機状態にさせておき、配信サーバとなる際に、入力する。

<ITBC v2.40 a39 バージョン後、受信機器の動作モードが見えます。>

受信部タイトル（画面上部の『ITBC 2』と表示されている部分）が

\* → ● → \* → ● を繰り返せば正常に配信中。

▲▼は通信のエラーが発生し、再受信中。

読み込み停止モード時は■になります。

（何かしらの問題（応答なし等）の場合、●で止まる事が多い。）

**※ 設定を変更した場合は必ず「起動時設定」で保存**

#### 7, 音声所得作業

- ・アンプと接続させた携帯電話の接続を確認。(音声、電源)
- ・音声ケーブルの接続を確認。
- ・音声接続語、音量を各自調整。

#### 8, 文字通訳実施

- ・連絡担当者は、依頼側連絡担当者の電話番号・常時対応可能か、等を確認しておく。
- ・連絡担当者は、事前に打ち合わせた内容（開始時間の遅延、トラブル発生等）に相違が発生した場合は、ただちに、依頼側連絡担当者に連絡・対応を行う。

#### 9, 支援終了後作業

- ・ITBCの「通信 off」
- ・手順4-2に従って、ログフォルダから当日のファイルを抽出。  
必要に応じて、森さんにファイルを送付。
- ・ITBCを閉じる。

#### <連絡事項> 2012.10.18 現在

- 1, IPtalk側で、F11とF9を続けて使うと、F9が効かない（文字が取り込めない）という不具合があります。

そのまま続けてF9やF11を押してしまうと、ITBCや表示機(iPhone等)の画面でだけ文字が消えて言ってしまうので、注意が必要です。

- 2, IPtalkの前ロールは、ITBCで共有できるそうです。

入力w → 「入力」 → 「事前原稿」

原稿前ロールなのか、テンプレート前ロールなのか、未確認です。